

平成28年度指定管理者管理運営状況評価結果について
(文化施設6件)

東京都では、指定管理者制度を導入した公の施設の管理運営状況について、第三者の視点を含めた評価を実施しています。

このたび、平成28年度の評価結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 評価の目的

評価は、管理状況、事業効果、方針と目標の達成状況といった観点から指定管理者の業務実施状況等を評価し、その結果を今後の施設管理運営に反映していくことで都民サービスの向上を図っていくことを目的としています。

2 評価の方法

指定管理者の年間を通じた施設の管理運営状況について、毎年度終了後、生活文化局が一次評価を行い、外部委員を含む評価委員会の評価を経て、最終的な評価を決定します。

3 評価の概要

(1) 評価基準(4段階)

総合評価	内容
S	管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A ⁺	管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
A	管理運営が良好であった施設
B	管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

評価の観点については別紙1のとおり。

(2) 評価委員会名及び委員構成

評価委員会	対象施設	委員構成
東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者評価委員会	東京都江戸東京博物館等6施設	外部委員6名(文化事業関係者1名、美術館・博物館関係者1名、ホール関係者2名、学識経験者1名、公認会計士1名) 内部委員1名(東京都職員)

評価委員会委員名簿については別紙2のとおり。

(3) 評価結果

	S	A ⁺	A	B	計
東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者評価委員会	2施設	4施設	0施設	0施設	6施設

各施設の評価は別紙3のとおり。

[問い合わせ先]

生活文化局文化振興部企画調整課
電話 03-5388-3158

評価の観点

項目	細項目	内容
管理状況	管理の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○施設設備その他の管理は適切に行われているか ・施設の安全性や快適性は確保されているか ・組織体制は事業計画どおりか ・事業、運営及び管理について自己評価システムが確立されているか <p style="text-align: right;">など</p>
	財務の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な財務運営が行われているか ・事業計画どおりの収支状況となっているか <p style="text-align: right;">など</p>
事業効果	事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的な事業内容か ・資料や作品等の管理は都の定める方針及び要領に従って適切に実施されているか ・調査研究や展覧会等は館の設置目的に沿った効果的な内容か ・館の設置目的に沿った戦略的かつ効果的な貸館が行われているか <p style="text-align: right;">など</p>
	運営の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な施設運営が行われているか ・休館日や開館時間は条例や規則に従っているか ・広報は館の設置目的に沿った効果的な内容か ・館内サービスは適切に提供されているか <p style="text-align: right;">など</p>
方針と目標の達成状況		<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画の基本方針に従い、目標を達成しているか ・館の管理、事業及び運営は事業計画の基本方針に沿って実施されているか ・定性目標、定量目標は達成されているか <p style="text-align: right;">など</p>

評価委員会委員名簿

評価委員会名	委員氏名	役職名
東京都江戸東京博物館外 5施設指定管理者評価委 員会	荻原 康子	公益財団法人墨田区文化振興財団 常務理事
	田村 孝子	公益社団法人全国公立文化施設協会 副会長/ 文化ジャーナリスト
	津村 卓	一般財団法人地域創造プロデューサー/ 上田市交流文化芸術センター館長
	松本 透	長野県県民文化部 信濃美術館整備担当参与
	水嶋 英治	筑波大学 図書館情報メディア系教授
	野崎 一彦	公認会計士/税理士
	鈴木 誠司	東京都生活文化局 文化施設改革担当部長

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都江戸東京博物館
所在地	東京都墨田区横網1-4-1（分館 東京都小金井市桜町3-7-1）
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団グループ
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成28年度

項目		評価内容	
総合評価		S	
管理状況	管理の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたる日中韓博物館連携の実績として、交流展覧会を開催したことは、画期的な試みとして評価できる。 ・分館において、復元建造物を適切に管理している。 ・財務状況について、収支のバランスが保たれ、正味財産が増加した。また、寄付金が前年度と比較して大幅に増加した。
	財務の状況	◎	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示における多様な企画展プログラム及びタブレット端末やリーフレット等による多言語化の推進、調査研究に基づく、話題性とオリジナリティに優れた魅力的な特別展の開催による鑑賞者の動員、講座プログラムの充実などが高く評価できる。 ・分館において、個々の建物が有する物語に沿った活用を創意工夫している。 ・両国、小金井それぞれの地域性に寄り添いながら、地域とのつながり・連携を意識した事業展開を行っている。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	事業内容全体	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸東京文化の調査研究、収集、展示、教育普及の場につながる事業が実施されている。 ・子供や外国人を対象とした事業、多言語対応やボランティアの活用など、他館のモデルとなるような事業を展開している。
方針と目標の達成状況		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・都市の歴史と現在を探求する博物館として、基本方針に沿った運営がなされ、定性・定量目標も概ね達成している。 ・コレクションの積極活用や、教育普及事業に重点を置きながら、新規事業に幅広く取り組んでいる点が評価できる。

【評価基準】各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	多言語による館の概要パンフレットの新規制作や、常設展の各コーナーの理解を促進する児童生徒向け学習用プリントの制作、分館におけるドローン撮影による新たな情報提供など、積極的な取組姿勢が評価できる。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、都の都市外交を文化面から大きく推進することを期待する。 ・分館においては、多様な客層に働きかける企画の一層の創意工夫が望まれる。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都写真美術館
所在地	東京都目黒区三田1-13-3
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団グループ
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成28年度

項目		評価内容	
総合評価		A ⁺	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> ハード面の改修、リニューアルオープンを契機として、映画を自動上映するシステムの導入などソフト面の新たな取組も行った。 財務状況について、収支のバランスが保たれ、国庫補助金や民間助成金の活用が行われた。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 展示手法を凝らした企画展や、堅実な作品収集と長期に及ぶ調査研究の実績を示す収蔵展の開催など、ますます事業が充実している。 恵比寿映像祭は、世界屈指の写真・映像専門美術館ならではのプログラムであり、東京という場所、現代という時代にふさわしい事業である。 休館中も、他施設を活用したワークショップやスクールプログラム等を展開し、館の存在感を高める活動に取り組んでいる。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	事業内容全体	◎	休館中はアウトリーチ活動や地域を中心とした教育普及活動にも積極的に取り組み、成果を挙げた。また、リニューアルオープン後の展覧会も順調に実施されている。
方針と目標の達成状況		◎	基本方針に沿いながら、年度ごとの運営コンセプトを明確に打ち出し、意欲的な館運営で内外にその存在感を示している。定性・定量目標ともに、よく達成している。

【評価基準】各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	『東京都写真美術館総合開館20周年史』や、改修により整備されたショップ、カフェなどの来館者サービスに係るエリアの活用により、リニューアル感を強く印象付けた。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	写真・映像の保存科学研究という機能をさらに発展させ、論文や著作を和英で発表するなど、学術成果のさらなる高度化、国際化、海外発信に期待する。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都現代美術館
所在地	東京都江東区三好4-1-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団グループ
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成28年度

項目		評価内容	
総合評価		A ⁺	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理、関係機関との連絡調整、業務の品質管理等は適切に行われている。 財務状況について、正味財産の増加は評価できる。協賛金は若干減少している。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 「ピクサー展」は、アニメーション制作の舞台裏に踏み込んだ好企画であり、過去最高の入場者数となった。アニメ、ファッション、建築など現代美術の隣接領域を積極的に展示の題材に組み込んできた成果である。 休館前は多数の学校団体見学を受け入れ、休館後はアーティストと協働して多摩地域へのアウトリーチ事業を展開するなど、積極的な教育普及の取組を評価できる。 大規模改修の際に外部収蔵庫への膨大な数の作品移動を適切に行ったことは、これまでの作品管理の経験が活かされたと評価する。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	事業内容全体	○	<ul style="list-style-type: none"> 休館中の収蔵作品の適切な管理と移動及び活用は、今後の改修館のモデルとなり得る。 多彩な教育普及事業と新たな地域連携を高く評価する。
方針と目標の達成状況		◎	首都「東京」にあって、現代の多様な価値観を表し同時代の幅広い表現を扱う美術館として、基本方針に沿った運営が行われ、定量目標を大きく上回る実績を挙げている。

【評価基準】 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	休館中に清澄白河エリアの多数の協力者と共に開催された現代美術展「MOTサテライト」は見応えがあり、地域の魅力やポテンシャルを引き出す試みとなったと思われる。休館中のこういった試みは、リニューアルオープン後の館の活動にも資するものであり、評価できる。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	展示会の話題性や社会的反響などを分析し、今後の検討データとして職員で共有しておくことも必要である。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都美術館
所在地	東京都台東区上野公園8-36
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成28年度

項目		評価内容	
総合評価		S	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 多くの観覧者を迎える展覧会を無事故で実施し終えたこと自体、実績として評価できる。 財務状況について、全体として収支のバランスが確保され、正味財産が増加した。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 開館90周年の記念事業が好評を博したことに加え、特別展も多彩で話題性に富み、定量目標を大きく上回る観覧者数を得ている。 公募団体との連携による展覧会で館の独自性を打ち出すとともに、東京都現代美術館の収蔵作品を活用した展覧会の開催など、財団内での連携が図られ、施設規模を活かした取組がなされている。 WEBやツイッターによるタイムリーな情報発信により、館のアクセシビリティを高めている。また、多言語対応は、大型の海外美術展を開催している館として格別の意味や効果をもつ取組として評価できる。 中学生以下の子供を対象とした、展覧会の「ジュニアガイド」を年間3種作成し、各教育委員会と連携して小中学校へ配布したことは評価できる。
	運営の実施状況	◎	
重点評価項目	事業内容全体	◎	<ul style="list-style-type: none"> 多方面の連携により多彩な事業展開が図られている。今後の事業充実に向け、学芸員の研修も適切に行われている。 夏季夜間開館の実施など、来館者サービスの向上に向けた運営の努力姿勢も評価できる。
方針と目標の達成状況		◎	<ul style="list-style-type: none"> 企画展、公募展と連携展、アート・コミュニケーション等、各種事業が連携し、基本方針に沿う運営がなされることにより、「アートへの入口」として年々成果を挙げている。 上野「文化の杜」新構想が掲げられる中、世界中の名品に出会える美術館として機能を高め、様々な交流と体験の機会を提供する運営を志向している。

【評価基準】 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	「木々との対話」展は、実力作家5名による大空間を活かしたグループ展として特筆される。ヨーロッパ美術展や近代以前の巨匠展を中心とした特別展プログラムに、本格的な現代美術展が加わることは「アートへの入口」を一層広くするものと評価できる。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	動員力ある展覧会の際の来場者対応について、引き続き、事前に対策を想定する必要がある。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京文化会館
所在地	東京都台東区上野公園5-45
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団グループ
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成28年度

項目		評価内容	
総合評価		A ⁺	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設の安全安心に関しては概ね担保されており、避難訓練も実施されている。ホール運営については、貸館対応における質の高いサービスが評価できる。 財務状況について、収入全体が増加し、費用とのバランスが保たれている。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のネットワークを活かし、貸館事業において多彩で質の高い公演を実現していることは高く評価できる。加えて、自主事業における意欲的な企画や顕彰事業の拡充、他団体や教育機関等と連携した教育普及活動の実施など、公立文化施設としての役割を果たしている。 音楽コンクールの国際化について、海外アーティストとの切磋琢磨は育成のために何より大切で取り組むべき事項である。 東京2020オリンピック・パラリンピックで行う公演の準備に着手するとともに、周辺に集積する他の文化施設と連携し、上野エリアのブランド力向上に取り組んでいる。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	事業内容全体	○	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な誘致と営業活動で高いホール稼働率を実現。創造・発信、人材育成などの自主事業にも創意工夫が見られ、入場者数を伸ばしている。 子供たちに対するオリジナルプログラムに関して、目的を明確により充実したプログラム開発を目指してほしい。
方針と目標の達成状況		◎	<ul style="list-style-type: none"> 日本を代表するホールとしての伝統と実績、自覚に基づき、基本方針に沿った運営がなされている。 明確に目標が立てられ、公立文化施設としてそのための努力がなされており、その結果が数字にも表れている。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	創造発信、人材育成など、公立文化施設としてあるべき姿に一步も二歩も踏み出しており、全国の施設を牽引する存在となっている。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	スタッフの人材育成により注力するとともに、音楽資料室の利用数や友の会会員数について分析するなどして、教育普及からコンサートまで、全国のリーダーシップホールとしてより充実した事業を展開することを望む。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京芸術劇場
所在地	東京都豊島区西池袋1-8-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成28年度

項目		評価内容	
総合評価		A ⁺	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 高い稼働率を持つ劇場として、劇場の保守に取り組んだ。 財務状況について、全体的に費用を抑制し、正味財産が増加した。また、外部資金の活用が積極的に行われた。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 東京文化ビジョンのミッションを具現化すべく、国際的な舞台芸術のネットワーク形成が図られ、東京の舞台芸術シーンを代表する役割を一層強めている。 大中小それぞれのホールの特徴を活かしながら、音楽、演劇、ダンス等の多様な事業が展開されている。 大ホールについては、客層を的確に定めた取組により、一層の活用を期待する。 公演事業だけでなく、地域に開かれた、賑わいをもたらす劇場としての多彩な企画が集積され、池袋の活性化と都市ブランドの形成に大きく貢献している。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	事業内容全体	◎	話題性と動員力の高い舞台公演を実現し、創造する劇場として発信力を高めている。国内外の活動とのさらなる連携を期待する。
方針と目標の達成状況		◎	東京の芸術文化創造発信拠点として、長期的な方針に沿った館運営がなされ、高い稼働率を維持するなど、目標についても概ね達成している。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A⁺」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	日本でまだ非常に遅れている様々な子供のための舞台芸術が実施されるようになった点が大きく評価できる。ぜひ力を入れてほしい。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	東京の文化シーンを牽引する公立劇場として、内外のネットワークを強化し、地方都市の劇場との連携をさらに推進するとともに、人材育成や教育普及にも努められたい。